

自分が自分をあきらめない

やっど…という気持ちが正直なところでしょうか。朝夕の過ごしやすさや虫の音色の変化から、秋の訪れを感じることができる季節となりました。またこの時期は、こどもたちが学習や運動にじっくり取り組むのにとってもいい季節です。一人一人のおおぶっ子がさらなる成長を感じることができるよう、教職員一同励んでまいりたいと思います。

さて、元陸上競技選手で400mハードル日本記録保持者の為末大さんが、こども向けに書いた『生き抜くチカラ』（日本図書センター）という本があります。この本は、こどもたちへの愛情いっぱいのメッセージであふれた、大人が読んでも参考になったり元気が出たりする内容ばかりです。そして、表題の言葉は、この本の中に書かれていたものの一つです。

そこには、次のような為末さんの熱いメッセージが書き加えられています。

挑んで、負けて、また立ち上がる。立ち上がった瞬間、自分をもっと好きになる。

短いメッセージではありますが、為末さんの言葉を読んだとき、「挑戦」「不屈」「自尊感情」等々のポジティブなキーワードが私の頭に浮かびました。そして、読んだだけで前向きになれるすてきなメッセージだと思いました。とりわけ「…また立ち上がる…」という部分が私の心にささりました。

例えば、失敗してしまったことがあったとしても、この先ずっと失敗するとは限りません。「今失敗したこと＝絶対失敗すること」ではないはずです。しかしながら、失敗という場所で倒れたままであれば、本当に失敗という経験だけで終わることになってしまいます。そうではなくて、立ち上がりがあれば、失敗という経験を自分にとって意味のあるものに変えることができると思います。時間がかかってもいい。すぐに起き上がることができなくてもいいと思います。自分が自分をあきらめることなく、自分の足で進んでいくことが**自立への歩み**の一つだと考えています。

ご案内のように、2学期は多くの行事や体験活動が予定されています。それに向けて、多くのおおぶっ子が自分のもてる力を精一杯発揮して挑戦していくことでしょう。結果、うまくいくこともあれば、いかないこともあると思います。それでも、どんな結果であろうとも、おおぶっ子には自分が自分をあきらめることだけはしてほしくないと思っています。立ち上がって自分の足で歩いていく、そんなおおぶっ子の歩みを教職員がしっかり導き支えていきたいと思っています。

今後も保護者、地域の皆様の変わらぬお支えをいただきますよう、何とぞよろしくお願ひいたします。
(校長 伴 浩人)



令和6年度前期児童会役員「任期最後の1か月」。担当教師との打合せの様子

大府市の都市間交流事業で遠野市を訪問した本校の代表児童が、9月9日(月)の朝会で、遠野市での活動報告をしました。遠野市における農業体験やカップ伝説について、分かりやすく発表してくれました。2人の話を聞いて、「来年、チャレンジしてみたいな」と思った人は、来年度、ぜひ、選考基準となる作文で「遠野訪問への想い」を書いてきてくださいね。



遠野訪問の報告をする二人

9月18日(水)に原義治先生による「仏(ブ)ッチャン講座」が行われました。原先生は元教員で、現在は、本校の学校評議員でもあります。ご自身も大府小の卒業生です。本講座は大府小では9年目を迎えました。お釈迦様、仏教、大仏、聖武天皇、金剛力士像、東大寺等、小・中学校の歴史の授業で登場するキーワードを分かりやすく教えていただきました。6年生は、本日(10/1)修学旅行1日目の午後奈良の大仏を見学しています。「ブッチャンワールド」をしっかりと確認していると思います。



ぶっちゃん講座を受ける6年生

9月13日(金)~20日(金)、中田紀子先生による読み聞かせ講座がありました。1・2年生の各クラスとわかくさ学級の児童たちは、絵本の世界に引き込まれていました。また、読み聞かせの他にも、ハーモニカ演奏をしたり、授業の最後には手品を披露してくださいました。こどもたちにとって、本の楽しさにふれた時間となりました。



読み聞かせの様子

9月28日(土)、29日(日)大府公民館まつりにて大府小PTAより、みたらし団子ときなこ団子を販売しました。多くのおおぶっ子や市民の皆様にご購入していただきました。「みたらし、おいしかった!」「きなこ団子、もちもちだった!」そんな声を聞くことができ、とてもうれしかったです。地域の方々と協力して、公民館祭りを盛り上げることができたと思います。



みたらし・きなこ団子を販売するPTA